

活動グループ訪問記

トーマス

出発・進行
子供たちの夢を乗せたミニ新幹線
相模湖ふるさと鉄道愛好会を訪問



10月15日(土)、3年ぶりの開催となったほかほかふれあいフェスタ2022。ウエルネスさがみはら前広場のミニSとして参加いただきました「相模湖ふるさと鉄道愛好会」代表の伊藤顕さんに「相模湖ふるさと鉄道愛好会」についてお話をうかがいました。

会は30年位前から活動を始め、人数は16名くらいです。年代は20代〜80代まで。相鉄線、JR線など現役の運転手、駅勤務の若い方も結構いらっしやるそうです。お休みも取るのがなかなか難しいのですが、高齢者が多い中、重い機材などを持っていくのを助かってますとおっしゃっています。

「イベントなど、以前は多くて年10回位声をかけてもらってました。冬はお休みで、花見の頃から秋にかけて行っています。このコロナ禍で中断していましたが、少しずつ活動が始まっています。もう来年4月のイベントに声をかけてもらっています」と、嬉しそうに話してくれました。



来年は楽しいイベントがたくさん行われると良いですね。
活動範囲は神奈川県、山梨県、東京都、長野県、遠

くは茨城県の方まで行きます。だいたい神奈川県、東京都が多いそうです。ミニSは子どもたちが喜ぶだけでなく、大人も煙の臭いや、石炭などを懐かしそうに楽しんでくれるそうです。

当日は蒸気機関車のトーマスと電気機関車の新幹線が来てくれました。今回のほかほかふれあいフェスタは午後からの開催のため、トーマスの出番はありませんでしたが、楽しそうな子どもを乗せて走る新幹線を優しく見守っていらっしかったです。トーマス、新幹線を見ているだけでも心がウキウキしてきます。

トーマスはミニSでも内部は実物大と同じ作りになっているそうです。煤の掃除や整備に時間がかかるため、午後の開催の時は難しいそうです。

会の中で一番若い北出大貴さんにお話を伺いました。「きっかけは愛好会の方と鉄道グッズのネットオークションで知り合い、家が近かったことから直接お会いして会の話を知り、実際に動かすのを体験させてもらいました。また会員の高齢化が進んでいるので入会して欲しいと言われ、幼稚園に入る前から鉄道が好きでミニSのイベントに行き、走りせたり乗せてもらって楽しかった経験があったので、今度は提供する側になりたい」と思い入会しました。今は大学生ですが就職してからも自分のできる範囲でかかわっていきたいと思っております。



優しい笑顔で運転！
大学生の北出さん

当日は実際に運転もさせてくれました。「童心に帰れる、子ども達に楽しかった、ありがとうと言われると嬉しいですね。機材など重い荷物も多いので役に立ってくれるかな」と、「笑顔で話してくれました。

今、どこの団体でも高齢化、後継者不足という中で、北出さんのように若い人が自分の体験を通して次の世代に、そしてまた、次の世代に繋げていく、嬉しいことですね。これから子ども達だけでなく大人も楽しませて頂きたい。ありがとうございました。(小山)

*相模湖ふるさと鉄道愛好会
代表 伊藤顕
〒193-0832
八王子市散田町2-53-3
TEL/FAX
042-662-8132



寄付者が税制面での優遇措置を受けられます！ 寄付金控除制度の活用を

ボランティア協会では、来年度も、さまざまな事業を展開していくつもりですが、そのためには資金が必要です。
12月までに寄付をしてくださいと今年分の確定申告の間に控除されます。

詳細は、当協会でお問合ください。

*認定NPO法人

相模原ボランティア協会

電話 042-759-7002

会員の皆様には10月号にゆうちよ銀行の払込取扱票(手数料協会負担)を同封しましたので、ご利用ください。よろしくお願ひいたします。

